第9章 設定

この章では、

本装置拡張オプションソフトウェアをインストールしたあとに必要な設定につい て説明します。

設定方法を選ぶ	460
「かんたん設定」で設定する場合.............	460
「詳細設定」で設定する場合	460
「かんたん設定」で設定する (オフィスヘフレームリレー接続のとき)	461

9

設定方法を選ぶ

設定方法には「かんたん設定」と「詳細設定」の2つがあります。

通常のご利用では、「かんたん設定」で十分です。「かんたん設定」で設定したあとで、必要 な設定に関しては「詳細設定」で設定を追加する方法をお勧めします。

「補足」 IP アドレスや時計の設定などは、アナログ機器でも行えます。

「かんたん設定」で設定する場合

「かんたん設定」では、1つの画面で最小限の情報を設定するだけで本装置を使用できるよう になります。『ルータ設定』と『アナログ設定』の2つがあります。

『ルータ設定』は、データ通信の設定が行えます。以下の2つの接続形態があります。

(1) インターネット接続

プロバイダとの接続方法により、以下を選択します。

- 端末型ダイヤルアップ接続の場合 インターネットへ「ISDN 接続」 インターネットへ「フレッツ・ISDN 接続」 専用線接続の場合 インターネットへ「専用線接続」

(2) 事業所 LAN どうしを接続

接続方法により、以下を選択します。

- ISDN 接続の場合 オフィスへ「ISDN 接続」
- 専用線接続の場合 オフィスへ「専用線接続」
- フレームリレー接続の場合 オフィスへ「フレームリレー接続」

『アナログ設定』は、基本的なアナログ機器の設定が行えます。

「かんたん設定」で設定する場合は、設定終了時に「設定終了」ボタンをクリックする必要 があります。この場合、本装置が再起動され、通話中やデータ通信中の場合は通話および データ通信は切断されます。

「詳細設定」で設定する場合

詳細設定は本装置のすべての定義が設定できます。

「詳細設定」で設定する場合は、「設定ページリファレンス」(P471)を参照してください。

こんな事に気をつけて ——

- 「かんたん設定」を行った後に「詳細設定」を行うと「かんたん設定」で設定した内容が変更 されます。
- 「詳細設定」を行った後に「かんたん設定」を行うと、「詳細設定」で設定した内容が変更され ます。ただし、パスワード情報、アナログ情報、ファームウェア更新情報は有効です。
- 詳細設定で設定した内容はかんたん設定で確認できません。

「かんたん設定」で設定する (オフィスへフレームリレー接続のとき)

この機能は、拡張オプションソフトウェアをインストールしたときに使用できます。 事業所LAN どうしをフレームリレーで接続する場合の設定方法を説明します。

フレームリレーを利用すると複数の事業所のLANと接続が可能になり、高速にデータの転送が行えます。また、相手先ごとに固定的な回線を接続するので、公衆網であるフレームリレー網に閉域ネットワークを構築することができ、セキュリティの確保にも適しています。



設定条件

[東京事業所]

- DLCI : 16
- CIR : 32Kbps
- DHCP サーバ機能 :使用しない
- LAN 側のネットワークアドレス/ネットマスク : 192.168.1.0/24
- 本装置のIPアドレス

[横浜営業所]

- DLCI
- CIR
- DHCP サーバ機能 :使用しない
- LAN 側のネットワークアドレス/ネットマスク : 192.168.2.0/24
- 本装置のIPアドレス : 192.168.2.1

: 192.168.1.1

:16

: 32Kbps

こんな事に気をつけて ――

文字入力フィールドでは半角文字(0~9、A~Z、a~z、および記号)だけを使用してください。 ただし、空白文字、「"、「<、「>、「&」、「%」は入力しないでください。入力した場合、ブラウ ザでの設定が不可能となります。

詳細については、「付録 文字入力フィールドに入力できる文字一覧 (P.600)」を参照してください。

東京営業所の本装置を設定する

- 1. かんたん設定でオフィスへの「フレームリレー接続」をクリックします。 「かんたん設定(オフィスへフレームリレー接続)」ページが表示されます。
- 2. [必須設定]で以下の項目を指定します。
 - Si-R30のIPアドレス 192.168.1.1 (既存のLANにつなぐときは適宜変更)
 - Si-R30のネットマスク 24 (既存のLAN につなぐときは適宜変更)
 - 相手ルータのIPアドレス 192.168.2.1 (接続先となる本装置のIPアドレス)
 - 相手ルータのネットマスク 24(接続先となる本装置のネットマスク) 128Kbps
 - 使用する回線速度
 - DLCI 16
 - CIR 32Kbps

[必須設定] 「家	[<u>?</u>]
Si-R30のIPアドレス	192,168,1,1
Si-R30のネットマスク	24 (255.255.255.0)
相手ルータのIPアドレス	192 , 168 , 2 , 1
相手ルータのネットマスク	24 (255.255.255.0)
使用する回線速度	C 64Kbps 💽 128Kbps
DLCI	16
CIR	32Kbps 💌

- 3. [オプション設定]で以下の項目を指定します。
 - 接続ネットワーク名 yokohama(接続するネットワークの名称を半角英数字8 文字以内で入力します。接続先を区別するため任意の名 称を指定します。)
 - DHCP サーバ機能 使用しない

[オブション設定] 🎵	R	3
接続ネットワーク名	yokohama	
DHCPサーバ機能	 使用しない 使用する DNSサーバ広報 192 , 168 , 1 , 1 	

設定が終了したら、[設定終了]ボタンをクリックします。
 再起動後に、通信できる状態になります。

横浜営業所の本装置を設定する

「東京営業所の本装置を設定する」を参考に、横浜営業所の本装置を設定します。その際、 特に指定のないものは、東京営業所と同じ設定にします。

補足 設定が終わったら、[設定終了]ボタンをクリックします。

[必須設定]

• Si-R30のIPアドレス 192.168.2.1 (本装置のLAN側のIPアドレス)

128Kbps

24

- Si-R30のネットマスク
- 相手ルータの IP アドレス 192.168.1.1 (接続先となる本装置の IP アドレス)

24(接続先となる本装置のネットマスク)

- 相手ルータのネットマスク
- 使用する回線速度
- DLCI 16
- CIR 32Kbps

[オプション設定]

- 接続ネットワーク名 tokyo(接続するネットワークの名称)
- DHCP サーバ機能 使用しない

登ヒント ——

省略値について

かんたん設定時に適用される主な省略値を示します。

:変更可能、×:変更不可

項目	適用される省略値	オプション設定 での設定変更
接続ネットワーク名	localnet	
DHCP サーバ機能 ・割り当て先頭 IP アドレス ・割り当てアドレス数	使用する 本装置の IP アドレス、ネットマスクから求めた ネットワークアドレス+2 32	
NAT機能	使用しない	×
かんたんフィルタ	使用しない	×
ダイナミックルーティング ・RIP 送信(LAN 側) ・RIP 受信(LAN 側) ・RIP 送信(WAN 側) ・RIP 受信(WAN 側)	送信しない 受信しない 送信しない 受信しない	×
スタティックルーティング ・LAN 側 ・WAN 側	なし 相手ルータの IP アドレス、ネットマスクを元に ス タティックルートを設定する	×
PVC確認手順	使用する	×
CLLM メッセージ	使用する	×
 輻輳通知ビット	FECNおよびBECN	×
ブリッジ	使用しない	×